

地域医療を守る長野県連絡会ニュース

地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会 No. 1 2020年 1月 27日
 TEL 026-223-1281 FAX 026-223-1291 E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

再編統合名指し病院「納得できない」

東御市民病院「地域に無くていいような印象を与えられた」

1/23 東御市民病院・結城院長「医療は常に地域で発生し、地域に帰るサイクル。当院は急性期の負担を軽減する役割を担っている。地域の病院がなければサイクルは回していけない」「私どものような病院が地域に無くていいような印象を与えられてしまった気がする」「距離が近ければという問題ではない」「むしろ市民病院はなくてはならないという応援の聲が寄せられていてありがたい」看護部長は『「病院がどうなるのか」という声が寄せられている」と話しました。



【地域と公立・公的病院を守る長野県連絡会】

2019年9月、厚労省は「再編統合の議論が必要」として全国424、県内15カ所の公立・公的病院を公表しました。それを受けて、地域医療を守ることを目的に医療関係団体、労働組合、県社協で連絡会を結成しました。連絡会は1～2月、10カ所の病院と懇談予定です。

<連絡会>

- ・長野県保険医協会
- ・長野県民主医療機関連合会
- ・長野県労働組合連合会
- ・長野県医療労働組合連合会
- ・長野県自治体労働組合連合
- ・長野県難病患者連絡協議会
- ・長野県社会保険推進協議会

鹿教湯病院「患者から大丈夫か？」の声

1/16 J A 厚生連鹿教湯病院・大澤院長「公的病院改革プランで再編含めた検討してきた。今更何をという印象だ」「入院患者から『鹿教湯は大丈夫か』と義援金をいただいた」「当院の役割に厚労省から何か言われるというようなこともないと考えている」。事務長「再編の財政支援（84億円）で何ができるのか」と話しました。

飯山日赤院長「寝耳に水。車で20分の距離ではない」



1/22 飯山赤十字病院・石坂院長は「寝耳に水だ」「近隣病院（北信総合）まで車で20分の距離ではない。冬場は1時間かかる」「（診療実績とされた）17年6月は、7月に病床転換を予定していた。県調整会議、北信総合病院、自治体とも議論して合意してきた。困惑しているし、納得できない」と話しました。現在、北信の4自治体（飯山、木島平、野沢温泉、栄）で厚労大臣宛てに要望書（→）を準備し、署名を行っていると話しました。

飯山赤十字病院の維持・存続を求める要望書（案）

飯山赤十字病院の維持・存続を求める要望書（案）

飯山赤十字病院は、長野県北部の北信医療圏に位置し、中山間地が多く日本有数の豪雪地帯である岳北地域における唯一の総合病院として、へき地医療拠点病院の指定も受け、雪深い地域に暮らす私たちの命と健康を守っている重要な地域中核病院です。

しかし、昨年9月26日、地域医療構想推進のために再編・統合が必要と判断された全国424の公立・公的等病院名が公表され、その中に飯山赤十字病院が含まれていたことで、私たちは今後の地域の医療に大きな不安を感じています。

公表された病院は、全国一律の基準により選定され、当地域の特性は全く考慮されていません。国が示した20分圏医療圏の他の病院に行くことは、夏季でも困難であり、積雪が多い冬季は言うに及びません。救急搬送に要する時間も大幅に増えることから、高齢化が顕著な当地域において、これは命に係わる問題です。

また、北陸新幹線飯山駅が開業し、リゾート地として外国人等のスキーヤーが急増しており、観光客の傷病にも迅速に対応する必要があります。このように、医療基盤は地域創成にも必要不可欠です。

現在、飯山赤十字病院の運営に関しては、病院における医師確保や経営改革の推進、自治体による財政支援など、懸命な対策が講じられており、診療機能の充実により地域住民が一層安心して受診できる環境が整いつつあります。

つきましては、こうした地域の実情を踏まえ、下記の事項について地域住民の署名を添えて要望します。

記

- 1 飯山赤十字病院に対し、他病院との統合や機能の縮小を求めないこと
- 2 地域医療構想については、地域における協議の結果を尊重し、それ以上の再編・統合を強制しないこと

令和2年3月 日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

飯山市長 足立 正則
 木島平村長 日暮 正博
 野沢温泉村長 高井 俊雄
 栄 村 長 森川 浩市